

ウェルフェア イズ ラヴ❤️

2024年11月21日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ★）

先日の新聞記事で、『カサンドラ症候群』が紹介されていました。

『カサンドラ症候群』とは、「発達障害の特性がある方のパートナーが、発達障害の方との意思疎通や心の交流が上手くいかず、メンタル面で疲弊してしまった状態。」を言います。「症候群」という名前ではあるけれど、医学上の病（診断）名ではありません。

当事業所代表自身が、「発達障害のグレーゾーン」という診断を受けているので、私はどうしても発達障害の当事者寄りの立場に立ってしまいますが…。当事業所代表自身のこれまでの経験から感じることは、良い悪いという評価的視点ではなく現実問題として、「発達障害の傾向がある方と定型発達の方では、“感覚や感じ方そのもの”が、大きく異なる部分がある。」と思います。感覚や感じ方なので、お互い無理やり矯正して、相手に合わせようとすればどうしたって「ストレスが溜まる」以外の結果にはならない。

そして、発達障害であろうがなかろうが、人の感覚や感じ方はそれぞれ。十人十色、百人百様とも言える。まずは、お互いが冷静な時に、「あなたも私も、人間皆、感じ方や考え方、感覚は違うよね。」ということを冷静に話し合うことが大切かなと思います。

障害の有無等は一切関係なく、人と一緒に生きて生活していこうとするならば、このことは皆が、それぞれなりに理解する必要があるように思えます。

🗨️ スタッフのヒトリゴト 🗨️

先日、当事業所代表が所属している、「高松市レクリエーション協会」のイベントとして、『バルーンアートに挑戦！』が開催されました。

「結ぶ」という作業が難しい当事業所代表はバルーンアートは全くできない（空気が全部抜けていってしまう）ので、受付として参加しましたが、有難いことに仲間が見本用に作った「バルーンツリー」をプレゼントしてくれました♪



LOVE のラブラブな実践

この広報紙でも何度か取り上げさせて頂いたかと思いますが、年明けを目途に当事業所として太田日常生活圏域で「認知症カフェ」を開催したいと考え動いておりましたが、無念ではありますが今回は断念させて頂くことに致しました。

半年程当事業所なりにいろいろ動いてみましたが、適した開催場所を確保することが出来ませんでした。

「太田日常生活圏域で」ということに拘らなければ場所を確保することができたかもしれませんが、高松市内には既にたくさんさんの認知症カフェが存在しているものの偏在が激しく、同じ日常生活圏域に 3 箇所以上の認知症カフェが開設されている日常生活圏域もあれば、1 箇所も開設されていない日常生活圏域もあって、当事業所がある太田日常生活圏域も 1 箇所も開設されていない日常生活圏域のひとつです。

偏在という現状に課題を感じた当事業所としては、太田日常生活圏域での開設に拘ったのですが、当事業所の力不足でこのような結果になってしまったことをお詫び申し上げます。

なお、当事業所のブログ記事にてもう少し詳細に説明させて頂いておりますので、もしご関心のある方はそちらも合わせて読んで頂ければと思います。

<https://lovesocialworker.com/?p=488>

県内の福祉イベント案内 他♪

高松市 生涯学習課が、「知的障がい者青年教室」（スキップクラブ）のボランティアを募集しております。ちなみに、当事業所代表もこれまで 5 年程ボランティアとして関わらせて頂いており、今年度も継続して関わらせて頂いております。

詳細はホームページをご確認下さいませ。

[「高松市知的障がい者青年教室（愛称：スキップクラブ）」ボランティア募集について | 高松市 \(city.takamatsu.kagawa.jp\)](http://city.takamatsu.kagawa.jp)

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町 1562 番地 伏石ハイツ第 1 201 号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

転載や拡散、配布大歓迎！！

来週号も乞うご期待♡